

= 研修・講習会 =

第142期技術講習所受講生募集のご案内について

1. 募集種目

二級ガソリン・三級ガソリン

2. 募集人員

種目	募集人員数
二級ガソリン	40
三級ガソリン	40

(受講希望人員10人未満の場合は、開講しない場合があります。)

3. 受講申込み

- ① 申込期間 8月14日(月)～9月15日(金)
- ② 受講申込み方法 受講希望者は受講申請書(教育課窓口にあります)に必要事項を記入のうえ受講料を添えてお申し込み下さい。
- 受講者の都合により未受講となった場合、受講料の返却しません。

4. 受講料

種目		受講料	備記
二級ガソリン	会 員	62,300	受講料には、テキスト代・資料代を含みます。(二級ガソリンについて材料代も含みます。)
	会員外	88,500	
三級ガソリン	会 員	59,800	
	会員外	86,000	

5. 講習日程予定

講習日程表は概ね下記の曜日を計画していますが、決定した講習日程表は受講者へ開講式の日にお渡しします。

- ① 二級ガソリン 原則 水、金曜日の20日間を予定(土曜日1日含む)
- ② 三級ガソリン 原則 水、金曜日の20日間を予定
- ③ 講習時間 9:10～15:50(1日6時限)
- ④ 開講式・全課程 10月11日(水)
- 受付8:30～8:45、開講式9:00
- 開講式終了後、講習を実施
- 修了式(予定) 令和6年3月上旬

6. 受講資格（実務経験は講習修了日までとする）

二級ガソリン	三級の技能検定に合格した者で技能検定合格の日から自動車の整備作業に関して 3年以上の実務経験 を有する者 (大学機械・電気・電子科卒1.5年、高校機械・電気・電子科卒2.0年)
三級ガソリン	自動車の整備作業に関して、 1年以上の実務経験 を有する者 (大学、高校機械・電気・電子科卒科卒0.5年)

7. **受講修了特典として各科目の検定実技試験が免除されます！**

検定実技試験免除は、各科講習修了日より2年間を超えると無効になりますので、期間内で登録学科試験を受験し、合格した後に全部免除申請として国に申請し整備士資格を受けて頂くこととなります。

詳細は、振興会教育課までお問い合わせ下さい。

8. その他

①本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。

②受講者は、白色作業服（工場等のロゴが無いもの）実習時は安全靴を着用して下さい。

③デジタルサーキットテスタを用意して下さい。

（10A程度の電流が測定できるもので、アナログタイプ、及びポケット型は不可とします）

※自動車整備商工組合購販課で下記の物を取り扱っています（価格変動あり）

		金 額
☆白色作業服	S～L、XL	4,070円
	4L	4,650円
☆デジタルサーキットテスタ (Kaise KU-2600)		7,330円

電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習のご案内について

令和2年4月から施行された特定整備制度において、従来の分解整備の認証（特定整備分解）に加え、電子制御装置整備の認証（特定整備電子）を取得する際、選任しようとする全ての整備主任者が「1級自動車整備士（1級二輪は除く）」または「1級二輪、2級自動車整備士であって支局が行う講習を修了した者」であることが必要となります。

つきましては、電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習を下記の予定で開催しますのでご案内します。

なお、約3か月に一度の開催となりますので、各事業場において下記予定表をご確認の上、受講するようお願いします。

また、講習日に変更が生じた際には、会報誌等を通じてお知らせします。

◇ 講習日及び申込期間

講習日	申込期間
9月22日（金）	8月21日（月）～ 9月 1日（金）
12月12日（火）	11月13日（月）～11月24日（金）
令和6年3月18日（月）	2月13日（火）～ 2月22日（木）

※申込期間中、申請書類を窓口に提出して申込をして下さい(FAX等で申込はできません)。

◇ 時間割

	受付時間	講習時間
実 習	9：00～9：30	9：30～12：30
学 科	13：30～14：00	14：00～15：00
試 問	14：45～15：00	15：10～15：40
合格発表	16：00～	

◇ 会 場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター

◇ 担当講師 山梨運輸支局陸運技術専門官

山梨県自動車整備振興会技術講習所専任講師

◇ 定 員 実習 25名 学科及び試問 50名（先着順、定員になり次第締め切りとします。）

◇ 受講料

	受講料	資料代
学科	無料	500円
実習	2,500円	

※ 資料は国土交通省ホームページからもダウンロードできます。

資料持参の場合は受講料のみとなります。

◇ 講習内容

実習 【3.0時間】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進安全技術の概要 ・ 先進安全技術の用いられるセンサー類等 ・ 電子制御装置整備に必要な重要事項 ・ センサー類のエーミング作業 等
学科 【1.0時間】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車特定整備事業について ・ 新たに特定整備の対象となる装置の保安基準設定状況 ・ 電子制御装置整備の適用を受ける自動車の確認方法 ・ 自動車特定整備記録簿の取扱いについて 等
【0.5時間】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試問

- ◇ 申請書類 (1) 受講申請書 1枚
(2) 受講票 1枚
【申請書、受講票は振興会・指導教育部窓口に用意します。振興会ホームページ (<http://www.ams.or.jp>) の会員ページからもダウンロードできます。】
(3) 写真2枚(縦4cm、横3cm)
(4) 自動車整備士合格証書の写しまたは自動車整備士手帳
(5) 実習受講済みの方は、実習受講証
(6) 実習を受講する方は、実習申込書
(7) 学科受講済みの方は、自動車整備士手帳(学科(検査員研修等)を受講済みであることを証明するため)

- ◇ 持ち物 (1) 筆記用具(鉛筆又はシャープペンシル)
(2) 消しゴム
(3) マーカーペン
(4) 資料をお持ちの方は『令和2年度又は令和3年度自動車検査員研修資料』又は『令和2年度版最近改正された法令・通達集(整備事業編)』又は『電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習テキスト(国土交通省自動車局整備課作成)』

【新型コロナウイルス感染防止対策のお願い】

- ① 受講時に**マスクの着用**を推奨します。
② 会場に入るときは、**設置してある消毒液で消毒**をお願いします。

OBD 検査システムの整備事業者向け説明会が開催されました

令和6年10月からのOBD検査本格運用に向けて、本年4月21日からOBD検査システムが稼働し、並行して整備事業者様からの利用者登録に係る申請受付が開始されます。

OBD検査システムの稼働に合わせ、独立行政法人自動車技術総合機構関東検査部によるOBD検査システムの操作方法等に関する説明会が、下記により開催されました。

令和5年10月から開始するプレ運用において、OBD検査に向けた適切な準備を進めるために、今後とも各種研修会・勉強会にご参加下さい。

なお、利用者管理システムへの登録に向けて、会員の皆様に随時お知らせしますのでご承知置き下さい。

- 日 時 7月10日(月) 9:30~12:30
7月24日(月) 13:30~16:30
- 内 容 【OBD検査システム導入準備に関する説明】
- ・OBD検査の概要
 - ・利用者管理システム 事前準備・通常業務・操作方法
 - ・特定DTC照会アプリ操作方法
 - ・OBD検査結果参照システム操作方法
- 講 師 独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部検査課
OBD検査業務専門官
- 会 場 甲府市総合市民会館 1階 芸術ホール



説明会の模様



説明会の模様

= 業界情報 =

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.139

【内 容】ドライブシャフトブーツ交換後、グリス漏れが発生した

・車名：乗用車 ・登録年：平成28年 ・走行距離：不明

ドライブシャフトのアウトターブーツ左右交換（部品は当方持込み）を整備工場（会員外・認証工場）に依頼した。整備が完了し、3日後、フロントホイールの左右にグリスが付着していた。作業時の拭き残しかと思いそのままにしていたが、1週間後、飛散がさらにひどくなり、整備を依頼した工場に再度見てもらった。工場側では、「ブーツ破れやバンド外れはなく、ブーツ内の余分なグリスが空気膨張ではみ出てきただけ。取り付けに問題はない。2週間後にまた確認させてほしい」との見解であった。それから数日後、フロントホイール部を確認したところ、更にグリスの飛散がひどく、下回りをのぞくと、右側ブーツバンドが外れてジョイントがむき出しになっていた。そのことを工場に伝えたところ、「持込み部品は保証できない。当店で取り扱っているタイプではないので、責任は持てない」の一点張りで話にならない。また、交換した部品が外れたことに対する謝罪や誠意も一切ない。貴会の助言、意見をお聞きしたい。

【対 応】

まず、当会の相談業務の範囲を説明、「会員工場に係る相談であれば内容の確認、場合によっては指導等もできるが、会員外に係るものは対応できない。整備後にブーツが外れ内部のグリスが飛散したとすれば、何らかの作業不備があった可能性があるが、当会では判断できない。まずは当該工場側に納得できる説明をしてもらう等、折衝していただきたい」と助言した。また、消費生活センターにも相談するよう勧めた。「わかりました」と返答があったので電話を切った。その後、相談者からの連絡は入っていないため終了とした。